ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けたGIGAスクールサポーターの効果的な活用に関する質問会についてお知らせします。

事　務　連　絡
令和３年１月２８日

各都道府県教育委員会「GIGAスクール構想の実現」担当課
各指定都市教育委員会「GIGAスクール構想の実現」担当課
各都道府県私立学校事務主管課
附属学校を置く各国立大学法人附属
学校事務主管課　　御中
附属学校を置く各公立大学法人附属
学校事務主管課
構造改革特別区域法第１２条第１項の認定を受けた
各地方公共団体株式会社立学校事務主管課

文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課

GIGAスクール構想の実現に向けたGIGAスクールサポーターの
効果的な活用に関する質問会について（周知）

平素より、学校における教育の情報化に関して御尽力いただきまして感謝申し上げます。

この度、GIGAスクール構想の実現に向けたGIGAスクールサポーターの効果的な活用方法に関する質問会を下記のとおりオンラインにて実施いたします。

GIGA スクールサポーターのご活用をご検討の教育委員会等は、本取組を積極的に活用いただくようお願いします。

なお、その際には、質問会だけでなく、教育の情報化に関する外部人材確保のための事業者等の紹介（別紙４）やICT活用教育アドバイザー（別紙５）の積極的な活用も御検討ください。

このことについては、都道府県教育委員会においては、域内の市町村教育委員会に対して、都道府県私立学校事務主管課においては、所轄の私立学校に対して、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第１項の認定を受けた各地方公共団体の株式会社立学校事務主管課においては、所轄の学校設置会社の設置する学校に対して、十分周知するようお願いします。また、指定都市教育委員会、附属学校を置く国公立大学法人においては、ご了知いただくようお願いします。

記

１　質問会開催日時

令和３年２月５日（金）１６：００～（１時間程度）

２　内容

司会進行

ICT 活用教育アドバイザー事務局

一般社団法人教育情報化推進機構理事長 東原 義訓

①GIGA スクールサポーターの概要・教育委員会における活用事例について

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課

情報教育振興室 情報教育企画係長　斉藤　光紀

②GIGA スクールサポーターの活用事例について

大阪府箕面市 子ども未来創造局 教育センター　岩永　泰典

③質疑応答

３　質問会参加用の情報

ミーティング ID: 910 1422 7140

パスコード: 081854

URL: https://zoom.us/j/91014227140

当日の質問会における留意事項等は（別紙１）を御覧ください。

（別紙１）オンライン質問会について（概要パンフレット）

（別紙２）オンライン質問会の手順等について

（別紙３）教育の情報化に関する外部人材の概要について

（別紙４）教育の情報化に関する外部人材確保のための事業者等の紹介について

（別紙５）ICT 活用教育アドバイザーへの問合せについて

＜本件担当＞
文部科学省　初等中等教育局情報教育・外国語教育課
情報教育振興室　情報教育推進係　担当　三上、窪田、大村
TEL：03-5253-4111（内線 2090）、03-6734-2090
E-mail：jogai@mext.go.jp

＜質問会の運営・ICT 活用教育アドバイザーに関する問合せ先＞
ICT 活用教育アドバイザー事務局　GIGA スクールヘルプデスク
MAIL：infogiga@oetc.jp
TEL：03-4363-0354（受付時間：10:00～16:00（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く））

＜GIGA スクールサポーターに関する問合わせ先＞
（公立）
文部科学省　初等中等教育局　情報教育・外国語教育課
情報教育振興室　情報教育企画係　担当　斉藤、岡田
TEL：03-5253-4111（内線 2090）、03-6734-2659
（国立）
（事業に関すること）
文部科学省　総合教育政策局教育人材政策課
教員養成企画室教育大学係　担当　近藤、遠藤
TEL：03-5253-4111（内線 3498）、03-6734-3498
（予算に関すること）
高等教育局国立大学法人支援課
総括係　担当　中村、中西
TEL：03-5253-4111（内線 3339）、03-6734-3339
（私立）
文部科学省　高等教育局私学助成課
助成第四係　担当　澤田、田中
TEL：03-5253-4111（内線 2547）、03-6734-2547

ICT活用教育アドバイザー事務局

第2回

GIGAスクール構想の実現に向けた GIGAスクールサポーターの 効果的な活用に関する質問会

オンライン開催

令和3年2月5日（金）16:00～17:00

GIGAスクール構想の実現に向け、学校におけるICT環境整備の初期対応を行う、GIGAスクールサポーターの効果的な活用に関する質問会をオンラインにて実施いたします。

文部科学省による事業概要や事例説明、教育委員会によるGIGAスクールサポーターの活用事例について説明します。

GIGAスクールサポーターのご活用をご検討の教育委員会は、本取組を積極的に活用ください。

Zoom接続先

https://zoom.us/j/91014227140　ID: 910 1422 7140　PASS: 081854

司会進行

ICT活用教育アドバイザー事務局

一般社団法人教育情報化推進機構理事長 東原 義訓

①GIGAスクールサポーターの概要・教育委員会における活用事例について

文部科学省 初等中等教育局 情報教育・外国語教育課情報教育振興室
情報教育企画係長　斉藤　光紀

②GIGAスクールサポーターの活用事例について

大阪府箕面市 子ども未来創造局 教育センター　岩永　泰典

Infogiga@oetc.jp

ICT活用教育アドバイザー事務局
（一社）教育情報化推進機構

TEL: 03-4363-0354

オンライン質問会の手順等について

別紙２

質問会に参加される方は、必ず最後まで御覧ください。

日時：令和３年２月５日（金）１６：００～

＊zoomを用いたオンライン質問会です。

会　議　情　報

【ミーティングＩＤ】　910 1422 7140

【ミーティングパスワード】　081854

【ＵＲＬ】https://zoom.us/j/91014227140

★当日の接続に不安がある場合は、２月５日（金）１１：００～１２：００の間で、事前に接続のテストが可能です。

★御不明な点は、ICT活用教育アドバイザー事務局（ **03-4363-0354** ）までご連絡ください。

★会議途中で誤って退出等された場合でも、上記ＩＤ等で再度入室が可能です。

★ zoomを始めてご利用される場合は、手順を本資料の４ページ目以降に記載しておりますのでご参照ください。

～オンライン質問会にあたり、お願いしたいこと①～

zoomの設定について

（１）ビデオは「ON」にしてください。（左下のビデオボタンで変更）
（２）マイクは「OFF」にしてください。（左下のマイクボタンで変更）
（３）ご自身の表示名を以下のルールで設定してください。

➢ **「（御所属）」「氏名」**
　例）「●●教育委員会　文科　太郎」の場合　⇒「●●　文科」
※　複数名でご参加の場合は、部署名を表示名に設定してください。

【途中で名前を変更する場合】
画面下の「参加者」アイコンをクリックし、参加者リストからご自分の名前にカーソルを合わせ、「名前の変更」ボタンから変更してください。

その他　留意事項

（１）　zoomアプリをご利用の場合は最新バージョンでご使用くださいますようお願いいたします。

【バージョンアップ方法】
Zoomアプリにサインイン後、右上のプロフィールアイコンをクリック。
メニューから、「アップデートを確認」をクリック。
最新バージョンなら「最新の状態を保っています」と出ます。更新がある場合は最新バージョンがダウンロードされますので、「更新」をクリックしてください。
なお、バージョンアップはZoomサイトから最新版をダウンロードすることでも可能です。
■ダウンロードセンター – Zoom　https://zoom.us/download

～オンライン質問会にあたり、お願いしたいこと②～

ご発言にあたって

（１）司会より指名された方が順番に、ご発言をお願いいたします。

（２）ご発言に当たっては、インターネットでも聞き取りやすいよう、いつも以上にはっきり・ゆっくりとご発言下さい。

（３）雑音やハウリング防止等のため、ご発言の時以外はマイクをミュートにしてください。

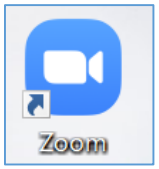
（４）ご発言に当たっては、「手を挙げる」ボタンを押して頂きますようお願いします。（挙手の方法は、本資料の７ページを参照）
事務局にて、挙手状況を確認させていただき、順次ご指名させていただきます。
※万一「手を挙げる」ボタンが動作しない場合には、カメラの前で実際に挙手してください。

（５）ご発言終了後は、マイクをミュートに戻すとともに、再度同じボタン（「手を降ろす」と表示）を押して挙手を取り消してください。

～ zoomの利用方法 ～

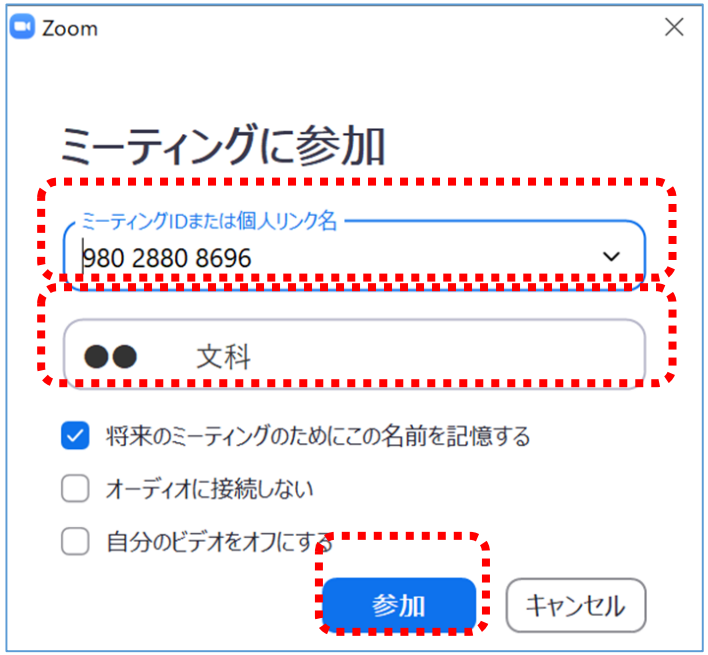
①以下のURLにアクセスするか、アプリを立ちあげます。

【zoom URL】 https://zoom.us/jp-jp/meetings.html



②画面上部の「ミーティングに参加する」をクリックします。

③事前にご連絡しているミーティングIDとお名前を入力し、参加ボタンをクリックします。



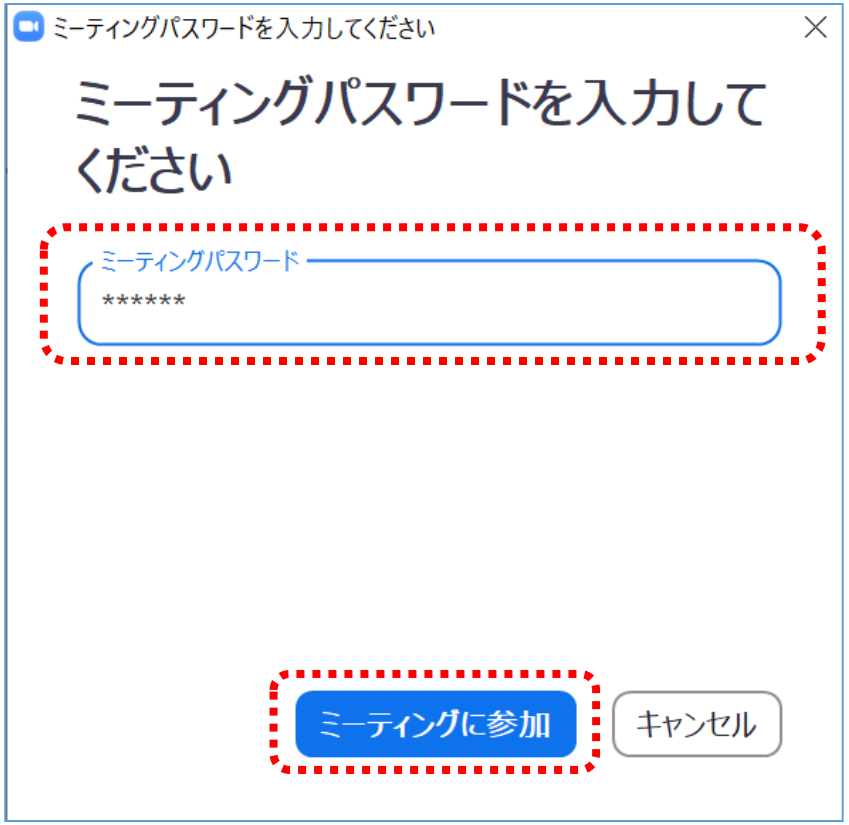
以下のミーティングID・お名前を入力してください。

今回ミーティングID
【980 2880 8696】

「（御所属）」「氏名」
例）「●●教育委員会文科太郎」
⇒「●●　文科」

【参加後に名前を変更する場合】
画面下の「参加者」アイコンをクリックし、参加者リストからご自分の名前にカーソルを合わせ、「名前の変更」ボタンから変更してください。

④ご連絡しているミーティングパスワードを入力します。



以下のミーティングパスワードを入力します。

ミーティングPW　【 **874398** 】

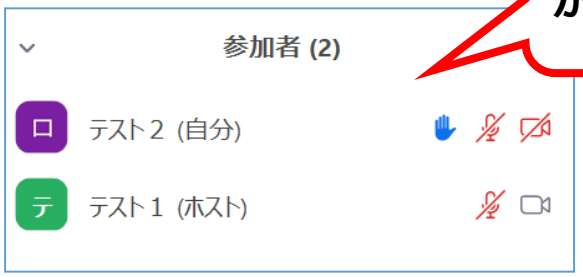
⑤「ミーティングに参加」をクリックします。

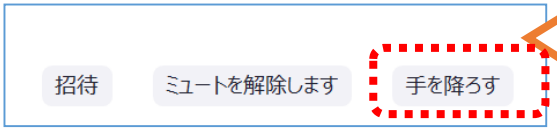
挙手の方法

①参加者をクリックし、右側に参加者一覧を表示させます。

②挙手は、「…」をクリックし、「手を挙げる」をクリックします。

③挙手中は、手のボタンが青くなります。

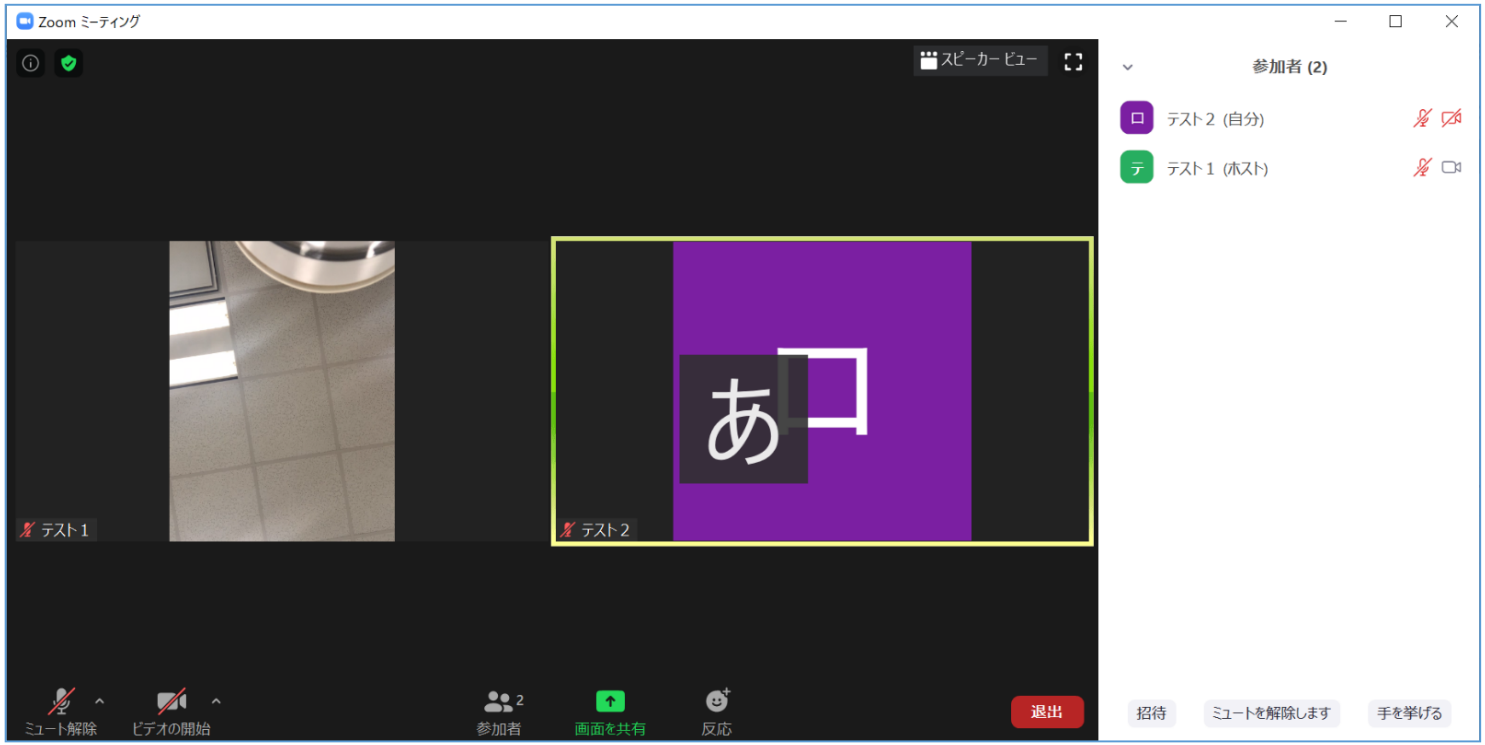




手を降ろす場合は、「手を下ろす」をクリックしてください。
（ご発言が終了しましたら、手を降ろしていただくようお願いします。）

zoom画面の説明

※会議で利用する主な機能は以下のとおりです。
※設定により表示が異なる場合があります。



マイク

・マイクのON／OFFを切り替えます。
・上の画面は、「ミュート」の状態です。
・ご発言の時だけ、マイクをONにしてください。

ビデオ

・カメラのON／OFFを切り替えます。
・上の画面は、
カメラがOFFの状態です。
・会議中はカメラはON（黒のボタン）にしてください。

参加者一覧（挙手）

・参加者の一覧を表示します。画面右側に表示されます。
【手を挙げる場合】
①画面下の「参加者」ボタンをクリックします。
②画面右側に表示される参加者リストの下にある「手を挙げる」ボタンをクリックします。

ミーティングから退出

・会議の退室時・終了時は
こちらのボタンで退室します。

ICT活用教育アドバイザー、GIGAスクールサポーター、ICT支援員の概要

ICT活用教育アドバイザー

＜令和２年度予算額：「新時代の学びにおける先端技術導入実証研究事業」（4.5億円）の内数＞
＜令和３年度予算額（案）：「GIGAスクールにおける学びの充実」（４億円）の内数＞

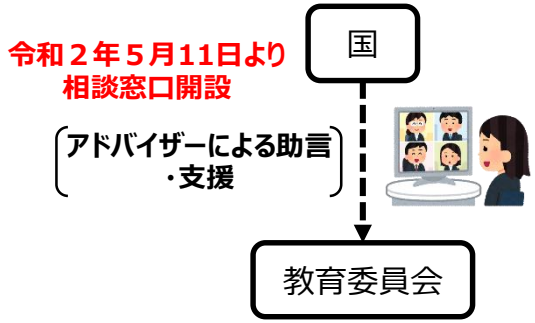
＜事業の流れ＞

国がアドバイザーを手配し、**各教育委員会等**に対し、派遣やオンラインで環境整備やICTを活用した指導方法など、教育の情報化に関する全般的な助言・支援を行う

※　アドバイザー：大学教員や先進自治体職員など、教育の情報化の知見を有する者

＜主な業務内容＞

ICT環境整備の計画、端末・ネットワーク等の調達方法、セキュリティ対策、ICT活用（遠隔教育含む）に関する助言　等



GIGAスクールサポーター

＜令和２年度補正予算額：105億円（自治体に対し、国が1/2補助）＞
＜令和３年度予算額（案）：10億円 （自治体に対し、国が1/2補助）＞

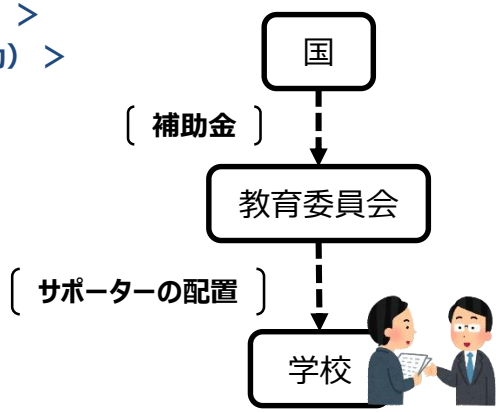
＜事業の流れ＞

各教育委員会等が国の補助金等を活用して、サポーターを募集・配置し、学校におけるICT環境整備の初期対応を行う

※　サポーター：ICT関係企業OBなど、ICT環境整備等の知見を有する者

＜主な業務内容＞

オンライン学習時のシステムサポート、ヘルプデスクによる遠隔支援、通信環境の確認、端末等の使用マニュアル・ルールの作成　等



ICT支援員

＜４校に１人分、地方財政措置＞

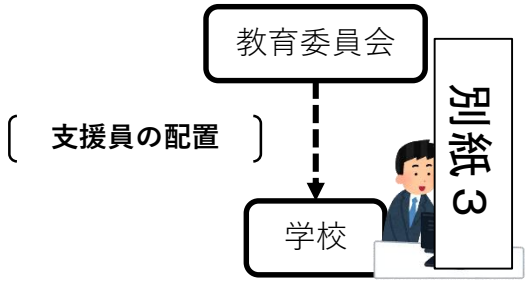
＜事業の流れ＞

各教育委員会等が地方財政措置を活用して支援員を募集・配置し、日常的な教員のICT活用の支援を行う

※　支援員：業務に応じて必要な知見を有する者

＜主な業務内容＞

授業計画の作成支援、ICT機器の準備・操作支援、校務システムの活用支援、メンテナンス支援、研修支援　等



別紙３

GIGAスクールサポーター配置促進事業

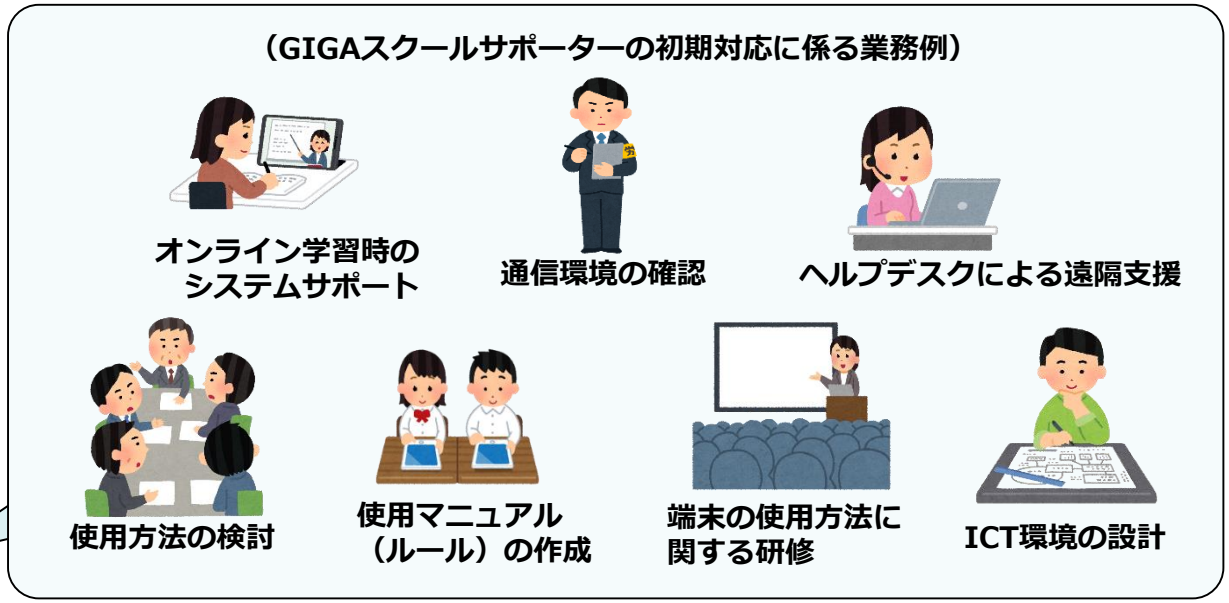
令和3年度予算額(案)　10億円
(令和2年度第1次補正予算額　105億円)

文部科学省

災害や感染症の発生等による学校の臨時休業等の緊急時においても、ICTの活用により全ての子供たちの学びを保障できる環境を早急に実現するため、「1人1台端末」の早期実現や家庭でも繋がる通信環境の整備など、「GIGAスクール構想」を加速することが必要であるが、学校の人的体制は不十分である。

このため、急速な学校ICT化を進める自治体等を支援するため、学校における**ＩＣＴ環境の設計**や**使用マニュアル（ルール）の作成**のほか、新型コロナウイルス感染症による臨時休業期間における、オンラインによる家庭学習の実施に関する支援等を行う**ICT環境整備等の知見を有する者の学校への配置経費を支援**する。

（GIGAスクールサポーターの初期対応に係る業務例）



対象校種	国・公・私立の小・中・高校・特支等
実施主体	国立：国立大学法人 公立、私立：都道府県、政令市、その他市区町村等、学校法人
想定人材	ＩＣＴ関係企業ＯＢなどＩＣＴ環境整備等の知見を有する者
補助割合	国立：定額　　公立、私立：　1/2
補助対象経費	人件費、旅費、消耗品費、雑役務費（委託事業費）等

ICT支援員について

＜ICT支援員の役割＞

学校における教員のICT活用（例えば、授業、校務、教員研修等の場面）をサポートすることにより、**ICTを活用した授業等を教師がスムーズに行うための支援**を行う。

＜ICT支援員配置の現状＞

地方公共団体で配置されているICT支援員の数は令和元年度末で**約2,500人※**

※ただし、ICT支援員の事務を、業務委託契約により実施している地方公共団体においては、ICT支援員の人数を把握できないものもある。

＜ICT支援員の必要性＞

新学習指導要領に即した学びを実現していくためにはICTの活用が重要

・ICTを活用した教育を推進するためには、教師をサポートするICT支援員が重要な役割を果たす。

・ICT環境整備の状況や教員のICT活用指導力は自治体ごとに異なっており、自治体の状況に応じてICT支援員に求められる能力も多様化している。

＜ICT支援員の具体的な業務例＞

① **授業支援**（授業計画の作成支援、ICT機器の準備、操作支援等）

② **校務支援**（校務支援システムの操作支援、HPの作成・更新、メール一斉送信等の情報発信の支援等）

③ **環境整備**（日常的メンテナンス支援、ソフトウェア更新、学校や地域ネットワークセンター等のシステム保守・管理、ネットワークのトラブル対応、ヘルプデスク等）

④ **校内研修**（研修の企画支援、準備、実施支援等）

ICT支援員に関する概要資料を公開しています。 https://www.mext.go.jp/content/1398432_005.pdf

教育の情報化に関する外部人材確保のための事業者等の紹介について

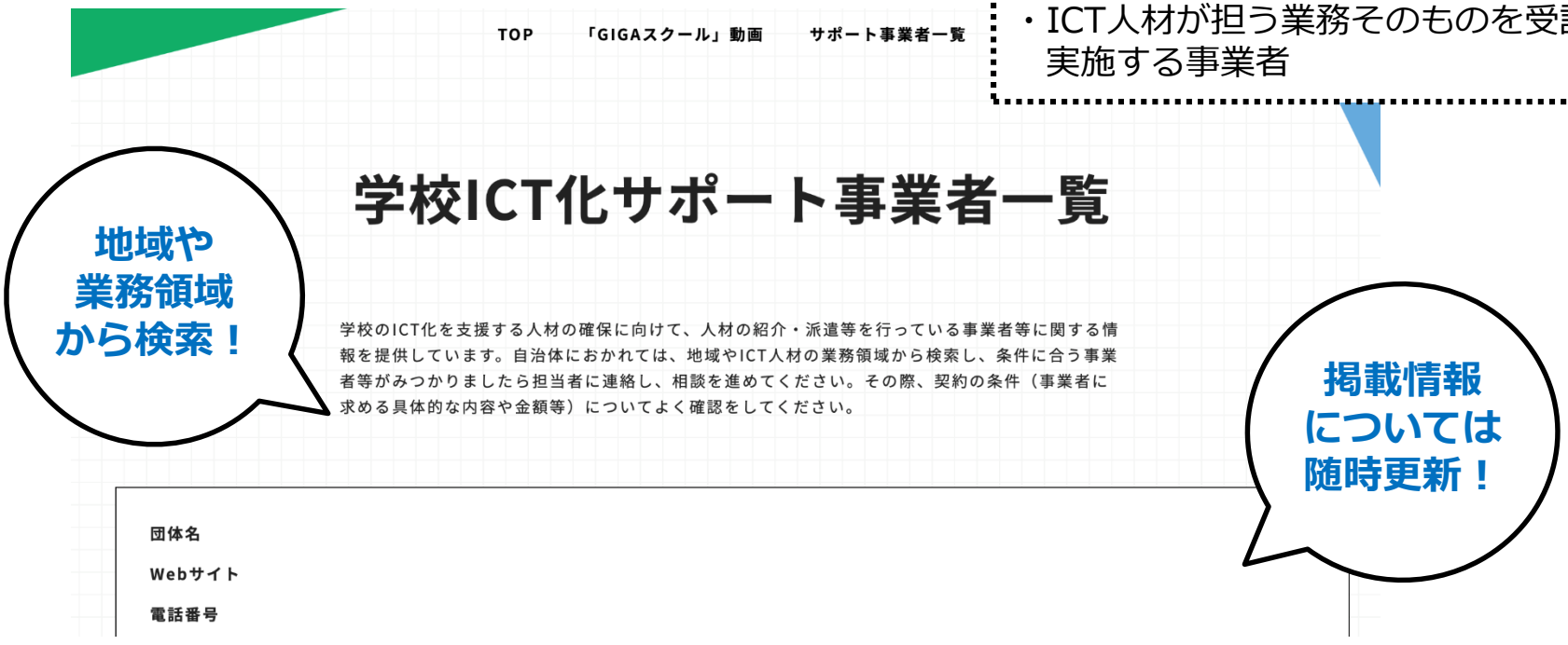
GIGAスクールサポーター、ICT支援員等学校のICT化を支援する人材の確保に向けて、自治体に対し、人材の紹介・派遣等を行っている事業者等に関する情報提供を行っています。

※　ICT人材の活用を希望する自治体はHP掲載情報を基に事業者等を調べ、条件に合う事業者等がみつかれば担当者に連絡し、相談を進めてください。その際、契約の条件（事業者に求める具体的な内容や金額等）についてよく確認をしてください。

https://oetc.jp/ict/partner/

「ICT活用教育アドバイザーの活用事業」事務局HP

情報掲載が予想される事業者の例
- 人材を紹介する事業者
- 人材を派遣する事業者
- 人材の募集に協力する事業者
- ICT人材が担う業務そのものを受託し実施する事業者　等



別紙４

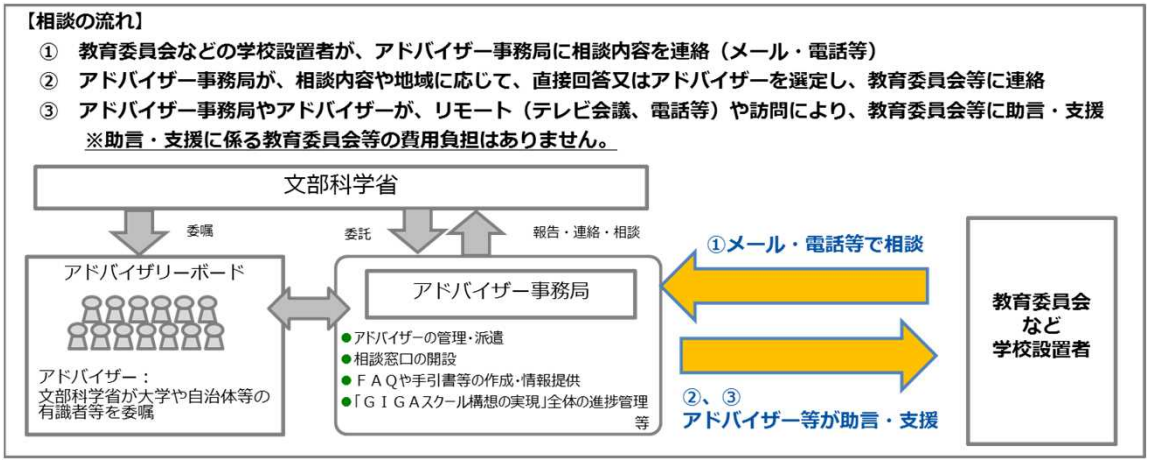
「ICT活用教育アドバイザー」へのお問合せについて

専門的な知見を持つICT活用教育アドバイザー等が、ＧＩＧＡスクール構想の実現に向けて教育情報化を進める際の「疑問」や「相談」にお答えします！

※ 助言・支援に係る教育委員会等の費用負担はありません。
※ 相談内容等に応じてリモート（テレビ会議、電話）又は訪問の形となります。

相談例

例えばこんなことでお困りでしたらご相談ください。
「ICT環境整備に関する計画策定ってどうすればよい？」
「ICT環境整備の仕様書作成や見積りの精査のやり方が分からない」
「学校のセキュリティを確保するにはどうすればよいか？」
「どのようにICTを活用すれば効果的な指導に繋がるのか？」



文部科学省委託事業「ICT活用教育アドバイザーの活用事業」事務局

お問合せ窓口

ＨＰで https://www.oetc.jp/ict/top/

メールで infogiga@oetc.jp

電話で ０３－４３６３－０３５４

電話受付時間：10:00~16:00
（土曜・日曜・祝日、年末年始を除く）

別紙５